

★ 提案14の賛成意見 ★

提案14: 幹細胞で治療し、治癒し、命を救う。幹細胞に関する研究、治療、治癒の恩恵を受けるであろう医学的症状のある子供や大人がいる家庭は、California全体の約半分を占めています。

提案14は、Californiaのがん、糖尿病、心臓疾患、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、HIV/AIDS、ALS、MS、鎌状赤血球症、肺疾患、腎疾患、重症複合免疫不全症候群、加齢による失明および遺伝的失明、てんかん、脳卒中、統合失調症、自閉症、その他心の健康および脳の状態、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) などの伝染病の患者に対する治療や最新の臨床試験を進展させ、科学的新発見を実現するために継続的な資金提供を行うものです。

継続的な成功の積み重ね: FDA承認済み臨床試験92件/今日までの医学的発見2900件。本年度に終了を迎えるCalifornia独自の幹細胞に関する資金提供は、慢性疾患や損傷に対するFDA承認済みの臨床試験92件、医学的発見2900件など、治療や治癒の発展において大きな前進を見せています。患者や慢性疾患（がん、糖尿病、心疾患、失明、HIV/AIDS、ALS、子供の免疫疾患、まひ、腎臓病など）に関する研究に恩恵を生み出しています。

治療を受けたCaliforniaの患者の成功例を以下に挙げます。・自動車事故により麻痺の残った高校生が上半身の機能を回復した。・遺伝的疾患により失明した母親が視力を回復した。・免疫システムが機能しない状態で子供が生まれる、命に関わる疾患に対する治療法が発見された。・命に関わる二種類の血液がんに対するFDA承認を取得した治療法。その他多くの患者からの声は、www.YESon14.com/successes でご確認ください

70以上の患者の権利擁護団体による支援。提案14に対する賛成票は、University of California (カリフォルニア大学)、ノーベル賞受賞者、患者および医療科学の代表的支援者、米国がん研究協会 (AACR、American Association for Cancer Research) など70以上の患者の権利擁護団体が支持を表明しています。・American Diabetes Association (米国糖尿病学会) ・Leukemia & Lymphoma Society (LLS、白血病リンパ腫協会) ・Juvenile Diabetes Research Foundation (JDRF、青少年糖尿病研究財団) ・The Michael J. Fox Foundation for Parkinson's Research (マイケル・J・フォックスパーキンソン病リサーチ財団) ・ALS Association, Golden West Chapter (ALS協会ゴールデン・ウェスト・チャプター) ・CURE—Citizens United for Research in Epilepsy (CURE—てんかん研究のための市民団体) ・One Mind (ワン・マインド) ・Immune Deficiency Foundation (免疫不全財団) ・Women's Alzheimer's Movement (女性のアルツハイマー運動) ・Alzheimer's Los Angeles (ロサンゼルス、アルツハイマー患者の会) ・Christopher & Dana Reeve Foundation for Paralysis (まひ患者のためのクリストファー&ダナ・リーブ財団) ・Cystic Fibrosis Research, Inc. (CFRI、嚢胞性線維症研究所)

・Arthritis Foundation (米国関節炎財団) ・Sickle Cell Disease Foundation of California (California鎌状赤血球症財団) ・Foundation for Fighting Blindness (失明撲滅財団) ・San Francisco AIDS Foundation (サンフランシスコAIDS財団)

「提案14は、Californiaの今日までの進歩の上に成り立つものであり、研究室から臨床研究へと医療の新発見を推進します。これは患者の命を救い、暮らしを向上するのに役立ちます。」—Adriana Padilla医師、Fresno

患者のアクセス向上と治療費の改善。「The Treatment and Cures Accessibility and Affordability Working Group (治療へのアクセスと手の届く治療費のためのワーキンググループ)」の専門家が臨床研究と新たな治療法へのアクセスを大幅に拡大し、治療費用をCalifornia住民がより支払いやすいレベルに改善し、患者、その家族、介護者に財務支援を提供することに専念しています。

経済と雇用の回復への刺激策。新たな歳入、経済活動、雇用がこの資金提供によって創出されており、Californiaの今後の景気回復に繋がります。最初の五年間は、州債への支払いは発生しません。また、Californiaの幹細胞プログラムは平均で年間一人当たり5ドル未満しか州の負担となりません。

厳格な説明責任と透明性の確保。CaliforniaのController (会計監査官) は、この資金提供機関の独立監査、財務監査、業績監査を確認する「The Citizens Financial Accountability Oversight Committee (市民による財務責任監督委員会)」の議長を務めています。この機関は、Californiaの会議公開法 (Open Meeting Act)、公文書公開法 (Public Records Act)、行政改革法 (Political Reform Act) を遵守しています。

慢性的な疾患や症状、損傷は、人の命を縮める上に、California住民に数億ドルもの医療費用の負担となります。私たちは、健康を促進し、何百万ものCalifornia住民を苦しめる病を減らすために投資を続け、幹細胞治療を前進させる必要があります。

提案14への賛成を投票する。自分の命や愛する人の命を救うことに繋がります。www.YESon14.com

ANTONI RIBAS、医師、博士、会長

American Association for Cancer Research (AACR、米国がん研究協会)

CYNTHIA E. MUÑOZ、博士、公衆衛生学修士号、会長

American Diabetes Association-Los Angeles (米国糖尿病学会、ロスアンゼルス支部)

ROBERT A. HARRINGTON、医師、理事長

Department of Medicine, Stanford University (スタンフォード大学、医学部)

★ 提案14の賛成意見に対する反論 ★

提案14にノーを投じよう

巨額の費用

上記の投票の議論を読めばわかりますが、支持者はこの取り組みの費用を最小に見せようとしています。

実際の費用合計は73億ドルです。失業者が急増し、予算が不足しているこの経済危機の最中においては巨額といえます。

無意味な約束

支持者は収入や雇用について、中身の無い約束をしています。

San Francisco Chronicle (サンフランシスコ・クロニクル紙) がCaliforniaの投票者に対する数年前の類似の公約について調査しました。そして「予想された大きな収入は実現していない」と結論を出しています。

独立専門家や報道各社は、提案14で認められた数十億ドルを使用することになる、州の官僚による記録の管理と透明性を問題視しています。

連邦で承認された治療法はほんの数件のみで、それが今日までにこの州の官僚が30億ドルを使用した結果です。

答えではない

医学研究は大切です。たくさんの人々に影響を与えている病気に対する治療法を発見する必要性があることには、私たち全員が同意します。

しかし、提案14はその答えではありません。

連邦政府と民間の投資家が治療法の発見に何十億ドルも費やしています。

California州の納税者は十分に義務を果たしました。

提案14にノーを投じよう。

VINCENT FORTANASCE、医師

PATRICK JAMES BAGGOT、医師

★ 提案14の反対意見 ★

私たちは何十億も無駄にできません

失業者が急増し、何百億ドルもの予算が不足しているこの経済危機の最中に、お金を燃やすようなことはできません。

私たちは、単純に、提案14の支持者が求める50億ドルがまかなえないのです。

そしてこの問題のある州の機関が過去15年間に費やした費用は約30億ドルです。しかも、結果はよくありません。

数十億ドルをも助成金として取り扱うこの州の機関の支出に関する「広範な分析」の実施後、San Francisco Chronicle（サンフランシスコ・クロニクル紙）は「予想された大きな収入は実現していない」と結論を出しました。連邦の承認を得た治療法はわずか数件という結果です。

提案14の支持者の言う、「経済的影響」という数字を信用してはいけません。

この「影響」には、次のものが含まれます。

他州に本拠地を置く民間企業に対する、1億ドル以上もの助成金。

医師でも医療系科学者でもない前California議会議員の非常勤の委員会副議長に対する、過去十年間で240万ドルの給与。

言語道断です。

深刻な問題のある官僚への資金提供である提案14

この資金を監督する州の機関の「誠実さと独立性」について、疑問を持つ人がいます。

Little Hoover Commissionは、この機関の取締役会の前会長であるRobert Kleinを「より厳格な説明責任を求める声をそらす役割の人」と見なしました。

BerkeleyのCenter for Society and Geneticsは、幹細胞に関する初期段階の取り組みにおける問題点について提案14は何も対処していない

と結論付けています。事実、問題は一層悪くなっていると彼らは結論付けています。

もっといい仕事ができる人がいる

National Institute of Health（アメリカ国立衛生研究所）は年間15億ドルを助成金として提供し、同種の研究に資金を提供しています。

民間の投資家や企業（Californiaに存在する多くを含む）は、税金ではなく民間の資金を使用して幹細胞を使用した病気の治療に向けて大きく前進しています。

そして、この機関がこの数カ月の間に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について研究する研究者に対して提供した、ほんのわずかな助成金にごまかされないでください。これは明らかに、このパンデミックに乗じて投票者を欺こうとしています。すでに、他の優先度の高い事柄に数十億ドルを費やしているのです。

提案14が意味するのは税金の値上げか解雇か、その両方か党に属さない立法アナリストの推定を引用した要約を見てみましょう。「公債への返済の州経費は、元本に（55億ドル）、利子に（23億ドル）の78億ドル。」

提案14の費用78億ドルを返済するということは、経済が絶望的な状況での大規模な増税の可能性があることを意味します。

または、Californiaの健康を支える実務を担う、何千人もの看護師やその他の真の英雄たちが解雇されるかもしれません。

提案14にノーを投じよう。

私たちは何十億も無駄にできません

VINCENT FORTANASCE、医師

PATRICK JAMES BAGGOT、医師

★ 提案14の反対意見に対する反論 ★

ノーベル賞を受賞した医療研究者や医師、70もの患者の権利擁護団体は、提案14を検討し、賛成への投票を勧めています。

● 幹細胞研究は現在治療できない病気や損傷の画期的な治療法を発見して医療の発展に寄与する臨床分野です。

● United States National Institutes of Health（NIH、アメリカ国立衛生研究所）は、Californiaに成功の実績があることから、治療を前進させる目的でCaliforniaのStem Cell Funding Institute（幹細胞基金機関）と提携しています。

● 新たな治療法の研究資金は公債によるものであり、税金ではありません。州の平均費用は年間で一人当たり5ドル未満に等しく、Californiaの経済復興の6年目となる、2026年まで州による支払いはありません。

● これらの新たな治療法により健康を回復することで、California住民の医療費が低くなります。

● Californiaからの資金提供は重要です。ワシントンDCからの資金提供は予測不能で、信頼できるものではありません。

反対者は、医学的発見2,900件、FDA承認の臨床試験92件、Californiaの会計監査官が議長を務めるCitizen's Financial Accountability Oversight Committeeによる高評価など、資金提供機関のこの数年間の発展を無視しています。

雇用回復への経済活性化効果—歴史が証明

University of Southern California Schaeffer Center for Health Policy & Economicsは、Californiaの幹細胞資金提供が創出する数億ドルの新たな歳入、107億ドルの経済刺激効果、1万件の新規雇用を検証する2019年報告書を発表しました。歴史が提案14が経済刺激効果を提供することを示しています。

以下を含む70の患者の権利擁護団体、University of California（カリフォルニア大学）、科学者らが支援しています。American

Association for Cancer Research（AACR、米国がん研究協会）

● American Diabetes Association（米国糖尿病学会）● Leukemia & Lymphoma Society（LLS、白血病リンパ腫協会）● Juvenile Diabetes Research Foundation（JDRF、青少年糖尿病研究財団）● ALS Association, Golden West Chapter（ALS協会ゴールデン・ウェスト・チャプター）● CURE—Citizens United for Research in Epilepsy（CURE—てんかん研究のための市民団体）● One Mind（ワン・マインド）● Immune Deficiency Foundation（免疫不全財団）● Beyond Type 1（ビヨンドタイプ1）● Women's Alzheimer's Movement（女性のアルツハイマー運動）● Alzheimer's Los Angeles（ロサンゼルス、アルツハイマー患者の会）● Christopher & Dana Reeve Foundation for Paralysis（まひ患者のためのクリストファー・ダナ・リープ財団）● Cystic Fibrosis Research, Inc.（CFRI、嚢胞性線維症研究所）● Arthritis Foundation（米国関節炎財団）● Sickle Cell Disease Foundation of California（California鎌状赤血球症財団）● Foundation for Fighting Blindness（失明撲滅財団）● San Francisco AIDS Foundation（サンフランシスコAIDS財団）

提案14への賛成を投票しましょう。自分の命や愛する人の命を救うことに繋がります。

TODD SHERER、博士、CEO

The Michael J. Fox Foundation for Parkinson's Research（マイケル・J・フォックスパーキンソン病リサーチ財団）

LAWRENCE GOLDSTEIN、博士、特別荣誉教授

Shiley—Marcos Alzheimer's Disease Research Center（シェリー・マーカスアルツハイマー病研究センター）

University of California, San Diego（カリフォルニア大学サンディエゴ校）

TRACY GRIKSCHIT、医師、小児外科部長

Children's Hospital Los Angeles